大阪市教

2021年 10月7日
VOL. 584
（一部30円。 購読料は組合費に含む）
（部内資料）

ママ友会議
交流（教育・人事）
12月18日（土） 13時
アネックスパル法円坂

発行　大阪市学校園教職員組合　大阪市中央区法円坂1－1－35（大阪市教育会館内）
TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyo1@sea.plala.or.jp

「女性自身」6/29号

選挙に行こう
公示19日、投票31日

命を守る政治に変えよう
憲法、コロナ対策、ジェンダー

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（市民連合）は9月8日、立憲民主、共産、社民、れいわ新選組と「衆議院総選挙における野党共通政策の提言―命を守るために政治の転換を―」を合意しました。

「市民連合は、野党各党に次の諸課題を共有して戦い、下記の政策を実行する政権の実現をめざす求める。」とし、「1．憲法に基づく政治の回復（安保法制廃止、コロナ禍に乗じた憲法改悪反対）」など6つの柱と20項目をあげています。（全文は「大阪市教」9月13日参照）

柱の2は、科学的知見に基づく新型コロナ対策強化（医療・公衆衛生の整備、エッセンシャルワーカーの待遇改善）、3．格差と貧困の是正、4．地球環境を守るエネルギー転換、地域分散型経済システムへの移行、5．ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現、6．権力の私物化許さず公平で透明な行政の実現、です。

朝日新聞10月1日付は、「立憲民主党と共産党が9月30日の党首会談で、立憲が衆院選で政権をとった場合、『限定的な閣外からの協力』をめざすことで一致した。『野党共闘』で選挙後の政権の枠組みに関して、野党第1党と共産が合意して戦うのは初めて。…合意を踏まえ、両党は小選挙区の候補者の一本化を加速させる」と報じました。

臨時国会が10月4日召集され、自民党の岸田総裁が首相に選出され、4野党は立憲民主党の枝野代表に投票。岸田氏は、総選挙を「19日公示、31日投開票」で行うとしました。

人間の尊厳を合言葉に 維新政治にストップを

「ストップ維新！住んでよかった大阪をつくる市民連帯集会」が9月17日行われ、会場に180人、オンライン生配信を100人が視聴しました。元大阪市長で「公共政策ラボ」代表の平松邦夫氏が司会、関西学院大学の冨田宏治教授が基調講演を行いました。

#大阪維新に殺される

冨田氏は、松井市長・吉村知事の大失策として、3月20日～22日の連休前に「花見自粛要請せず」と宣言、防護服不足を補うために雨ガッパの提供を市民に要請し、33万着が市役所に山積みされる、大阪における医療崩壊の原因は、府立公衆衛生研究所と市立環境科学研究所を「二重行政のムダ」として統合縮小し、職員を32％削減、医師・看護師など病院職員数を50・4％削減、衛生行政職員数を24・1％削減、と指摘しました。「#大阪維新に殺される」がSNSで広がりました。

コロナ対策 大阪府最下位

慶応大学濱岡豊教授によれば、コロナ対策〝成功度〟大阪府は最下位とし、「テレビに多く登場している首長が頑張っているように思われてしまうのでしょう。しかし、コロナによる健康や経済への影響を見る限り、メディアを利用した劇場型の政策には意味がありません。感染症対策の基本である、検査を厚くして感染者を早めに見つけ出し、療養させてさらなる感染を防止する。そんな対策を着実に行った首長が率いる自治体が、ランキングでは上位になっています」と指摘しています。（『女性自身』6月29日号）

新型コロナウイルス感染症により世界が人間の尊厳・個人の尊厳に目覚めつつあり、「人間の尊厳」を合言葉に政治を変える、維新政治を終わらせようと呼びかけました。

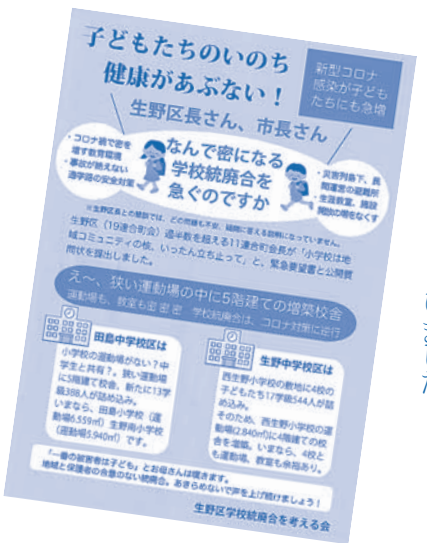
感染による大阪の累計死者数は2974人（10月2日現在）で全国最多。住民の命を守れない自治体となっています。大阪市の人口は、府の31％ですが、死者の43％、自宅療養者数の70％を占めています（大阪市健康局10月1日）。松井市長は、「コロナ対策は大阪府知事の権限」を繰り返し、20年度一般会計の決算見込みは130億円の単年度黒字、32年連続の黒字決算となり、財政調整基金48億円積み増し、1664億円となっています。市民のためにお金は使いません。

○よくする会機関紙455号より

大阪市 32年連続黒字決算
コロナ禍で1664億円の「貯金」！
保健所の体制強化を！
大阪市は、人口31％なのに…
自宅療養者78％、死亡41％

陳情提出

生野 学校統廃合 いったん立ち止まって



生野区19連合町会のうち11連合町会長が提出した市会陳情「コロナ禍のもと、いったん立ち止まって話し合いを」が9月24日教育子ども委員会で審査され、自民、自民くらし、共産が採択を求めましたが、継続審査となりました。

チラシ2万枚・ポスター500枚には「子どもたちのいのち 健康があぶない！新型コロナ感染が子どもたちにも急増 なんで密になる学校統廃合を急ぐのですか」と書かれ、町会掲示板に掲示され「班回覧」が始まりました。

10月に入り行われた地域ビラ配布には大阪市教の組合員も参加しました。

仲間が増えた！

相談にのってもらえる組合に加入

２学期が始まって間もなくのある日、組合員のＡさんは職場の人に相談を受けました。「今の職場でいろいろと悩むことがあり、転勤も考えたい。そのために、きちんと相談にのってもらえる組合に入りたい。」という内容でした。

日々の忙しさに加え、コロナ禍での感染症対策や急速に進むＩＣＴの導入や行事の見直しなど、学校の業務はますます大変になっています。子どもだけでなく、管理職や同僚との関係に悩んでいる人もいるでしょう。そんな時に、「相談するのはあの人だ！」と、大阪市教の組合員を頼りにしてくれたことに励まされました。対話をすすめ、あなたの職場でも１人、組合員を増やしましょう！

第30回 大阪市教 教研集会

○リレートーク
○報告「コロナ禍における子どもと学校園、デジタル社会・ＩＣＴ教育、維新の会について」
○分科会
・コロナ禍でもできる音楽指導
・今こそ作文で子どもたちの声を
・子ども達に安全と安心を
　～コロナ禍の保健室からから～（Zoom）
・特別支援教育実践レポート
・業務システムについての交流

10月16日（土） 13：30
アネックスパル法円坂

教え子を再び戦場に送るな！